

# 東北地方整備局における 取り組みについて

---

東北地方整備局 河川部

## クマ被害対策パッケージ(概要)

- **クマによる死者数が過去最多を大幅に更新し、国民の安全・安心を脅かす深刻な事態**となっていることを踏まえ、関係省庁連携による**緊急的な対策を含めた総合的な施策パッケージ**の実施により、**国民の命と暮らしを守る**。
- **人の生活圏からクマを排除**するとともに、**周辺地域等において捕獲等を強化**することで、**増えすぎたクマの個体数の削減・管理の徹底**を図り、**人とクマのすみ分け**を実現する。

※いずれの取組も新規又は対策の強化を行うもの

## 緊急的に対応すること (★は着手済)

- ★ **緊急銃猟に係るノウハウや事例の整理・周知及び専門家派遣** (環境省)
- ★ **緊急銃猟に係る責任範囲の周知等による捕獲従事者の不安払しょく** (環境省)
- ★ **効果的な事例の共有などクマ対策の必要性に関する理解醸成** (環境省)
- ★ **自治体職員による捕獲従事等に関する通知発信** (環境省、総務省)
- ★ **インバウンドを含めた登山者等への多言語による情報発信等** (環境省、観光庁)
- ★ **警察によるライフル銃を使用したクマの駆除** (警察庁)
- ★ **都道府県・市町村等と連携した出没時の安全確保** (警察庁、文部科学省)
- **自衛隊OB、警察OB等への協力要請** (環境省、防衛省、警察庁)
- ★ **学校及び登下校時の安全確保に関する取組の周知等** (文部科学省、環境省)
- ★ **農林業従事者の安全確保の徹底** (農林水産省、林野庁)

## 短期的に取り組むこと

- **春期のクマ捕獲及び捕獲単価の増額を含む集落周辺個体の捕獲強化等による個体数の削減・管理の徹底** (環境省、農林水産省、総務省)
- **ガバメントハンターの人件費や資機材等の支援** (環境省)
- **クマ駆除技能を有する警察官の確保・資機材整備** (警察庁)
- **市街地等での適切な麻醉銃の使用方法、効果的な捕獲方法・出没防止対策に関する情報提供** (環境省、農林水産省)
- **緩衝帯・強固な柵の整備、誘引物の撤去、電気柵による防護強化、ICT等による出没情報の提供等** (環境省、農林水産省、林野庁)
- **河川における出没対策のための樹木伐採や占用許可円滑化等** (国土交通省)

## 中期的に取り組むこと

- **自治体における専門人材、高度な捕獲技術を持つ事業者・捕獲技術者(ガバメントハンター等)の育成** (環境省、農林水産省)
- **クマの個体数の削減、人の生活圏からの排除に向けたガイドライン改定等** (環境省)
- **適切な個体数管理のための統一的な手法による個体数推定** (環境省)
- **堅果類の豊凶調査に基づくクマ出没傾向に関する情報発信** (環境省、林野庁)
- **保護区の設置・管理、広葉樹林化等による人の生活圏とのすみ分け** (環境省、林野庁)

## ○ 各種対策について、交付金等による速やかな支援を実施

(主な対象経費) ・ハンターへの手当等の捕獲推進にかかる費用 ・ガバメントハンター人件費 ・クマ対策関連資機材 (はこわな、電気柵、クマスプレー、安全装備等) 購入費 ・緩衝帯整備費 ・誘引物の撤去費 ・ICTを活用した出没対策費 ・人材育成のための研修費 等 ※その他 警察官の資機材整備、河川の樹木伐採、旅行者への多言語発信などを実施

## ○ 交付金を受けて実施する事業や地方単独事業として実施するクマの駆除等に要する経費について、特別交付税措置を講じる

# 河川におけるクマ対策の取り組み事例【岩手県：北上川上流】(1/3)

## ■背景

- R7年度にクマ出没が急増(盛岡市687件、北上市740件)  
(盛岡市では前年比約4.7倍、北上市でも約3.3倍に増加、和賀川周辺では死亡事故が発生)
- 両市とも河川沿いに住宅地・商業地があるなか、河川内の樹木群がクマの移動経路のひとつとなり得るため、市街地へのクマ接近リスクが顕在化
- 盛岡市より事務所へ、国管理区間の河川内樹木の伐採を期待する声 (R7.12.24)

## ■実施内容と場所・連携内容

- 築川合流点付近(盛岡市、A=2,500㎡):機械・人力で伐採
- 和賀川下流付近(北上市、A=4,800㎡):機械伐採
- **国・県・市が同時期に対策**を行うことで相乗効果を期待、**連携して取り組んでいる**
  - ⇒ 岩手県：築川・和賀川の県管理区間で、伐採や下草刈りを実施
  - ⇒ 盛岡市：中津川：応急刈り払い、雫石川：わな設置

## ■関係機関等との調整・合意形成など

- 盛岡市の動向を契機に、国・県(自然保護課・河川課)・市が、クマ被害対策に**足並みを揃え行動する重要性を認識**
- 河川管理者(国)は、管理上支障があり、クマ出没の抑制が見込まれる箇所を優先対応(県・市と十分に調整)
- 県からは伐採予定箇所の共有がなされ、**同一河川の上下流連携を含めた対応に取り組んだ**
- 今後も、継続的な情報共有体制を確保しつつ、関係機関との連携を強化する必要がある

## ■都道府県の鳥獣保護管理方針等との関係

- 岩手県は『第13次鳥獣保護管理事業計画』及び『第5次ツキノワグマ管理計画』を策定  
(緩衝帯設置や刈り払いによる移動経路遮断を位置付けている)
- 河川管理者(国)の伐採範囲について、これら**計画の方針とも整合**のうえ、県担当とも十分に確認  
(鳥獣保護区への影響もなし)

# 河川における取り組み事例【築川(盛岡市):樹木伐採】 (2/3)



【伐採状況写真】(県)



国・県連携

【伐採状況写真】(国)



# 河川における取り組み事例【和賀川(北上市):樹木伐採】(3/3)

●位置、写真：



国・県 連携

【伐採状況写真】(国)



実施前



実施後



作業状況

【伐採状況写真】(県)



実施前



実施後

## 河川における対策の取り組み事例【秋田県：雄物川下流、子吉川】

## ① 河川管理用通路の通行止措置



雄物川右岸：秋田市

- ・クマ目撃情報が相次いだことを受け、河川管理用通路を通行止
- ・河川公園の利用者や釣り人が、クマと接触するのを防止

## ② 河川敷の刈払い〔河川管理者〕



雄物川右岸：秋田市

- ・市街地に近接の河川敷で、刈草等を刈払い（ブルドーザーによる踏み潰し）

## ③ 河川敷の刈払い〔隣接事業者〕



旧雄物川：秋田市

- ・河川敷に隣接する工場構内でクマが出没
- ・事業者が自ら、工場に隣接する河川敷の草本類を刈り払い（河川管理者に作業届出の手続き、速やかに対応）

## ④ 許認可の簡素化〔箱わな設置〕



あわせて、周辺への立入禁止措置も実施

子吉川左岸：由利本荘市

- ・市町村からの河川への箱わな設置については、占用手続きを簡素化（届出即日受理）

## 【情報提供】工事現場等におけるクマ対策の事例集（令和7年11月）

## 記者発表資料

令和7年11月13日  
東北地方整備局

## 東北地整管内で実施しているクマ対策事例集を共有！

～各現場におけるクマ被害の未然防止に向けて～

東北地方整備局では、クマの出没が頻発している状況をうけて、工事現場等で実施するクマ対策の参考とするべく、東北地方整備局管内の「工事現場等におけるクマ対策の事例集」を作成しました。

管内の工事現場等では、熊鈴や熊スプレー等のクマ対策は既に取り組んでいる状況で、更なるクマ対策への取り組みとして、大音量スピーカー等の現場存置、狼の尿や唐辛子等の匂いによる忌避剤の使用、監視カメラの設置による警戒など、各現場で様々な工夫をしております。

このたび、東北地方整備局の工事現場のみならず、東北6県の地方公共団体及び建設業関係団体等が実施するクマ対策の参考としていただくため、本事例集を公表することとしました。

## 1. クマ対策の事例集について

東北地方整備局管内で実施しているクマ対策について、東北6県の地方公共団体及び建設業関係団体に参考としていただくため、東北地方整備局管内の工事現場等でやっているクマ対策の事例を紹介したものです。

## 2. その他

クマ対策の事例集は、以下に掲載します。

<https://www.thr.mlit.go.jp/bumon/b00097/k00910/jikogaiyou/subindex.html>

※本事例集は追加対策等があれば、随時更新します。

<発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会>

## 【問い合わせ先】

東北地方整備局 企画部 技術管理課長 高田 浩穂（内線3311）  
企画部 技術管理課長補佐 荒谷 義成（内線3314）  
住所：仙台市青葉区本町3-3-1 仙台合同庁舎B棟  
電話：022-225-2171（代表）

○基本的なクマ対策として、東北地方整備局管内の工事現場等では、既に各種取り組みが進められている状況

○本事例集は、現場の工夫を集約したもの

- 例）・大音量スピーカー等の現場存置  
・狼の尿やトウガラシ等の匂いによる忌避剤の使用  
・監視カメラ設置による警戒

○東北地方整備局の関係者や工事・業務等の受注者等、東北6県の地方公共団体、建設業関係団体等に対し、東北地整管内のクマ対策を共有し、クマ被害の未然防止に向けた取り組みの参考としていただくもの

## 【概要】東北地方整備局管内の工事現場等におけるクマ対策

- 基本的なクマ対策としては熊出没情報の収集、熊よけグッズの携行（熊鈴・熊撃退スプレー・笛やホイッスル等）、複数人行動の徹底、食料品の放置はしない等が挙げられ、東北地方整備局管内の工事現場等では既に取り組んでいる状況です。
- また、東北地整管内の更なるクマ対策への取り組みとして、大音量スピーカー等の現場存置、狼の尿や唐辛子等の匂いによる忌避剤の使用、監視カメラの設置による警戒など、各現場で様々な工夫をしております。
- 本事例集はそのような現場の工夫を集約したもので、東北地整の関係者や工事・業務等の受注者等、東北6県の地方公共団体、建設業関係団体等に対して東北地整管内のクマ対策を共有し、クマ被害の未然防止に向けた取り組みの参考としていただくものです。



▲熊スプレーの噴射訓練

▲外部専門家による講習会の実施状況



▲管理施設内の監視カメラ設置（事例は、動物などの動きに応じて録画するタイプの監視カメラを設置）



▲忌避剤の現場存置



▲管理施設利用者へ注意喚起（記者発表） ▲SNSに目撃情報を発信